

第6学年外国語活動学習指導案

1 単元名 Unit 9 単元名 Junior High School Life 中学校生活・部活動

2 単元目標

(1) 中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。

【知識及び技能】

(2) 中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。

【思考力、判断力、表現力等】

(3) 他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3 言語材料

○ I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].

○ member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale

[既出] 動作, 身の回りの物, スポーツ, 職業, 日課, 曜日, 状態・気持ち, 行事, 教科など

4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

5 指導観

(1) 単元観

今年度より、調布市においても先行実施されている新学習指導要領外国語活動の目標は、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成すること」である。この資質・能力は、①「知識及び技能」、②「思考力・判断力、表現力等」、そして③「学びに向かう力・人間性等」である。

本単元では、新学習指導要領の3つの資質能力を意識しながら、中学校で入りたい部活動や行事などについて伝え合う活動を行う。また、新しく加わった、読むこと、書くこと、話す(発表)を含む4技能5

平成30・31年度 プログラミング教育推進校事業 調布市立北ノ小学校 外国語の授業におけるプログラミング的思考に関する提案

領域を扱う。「知識及び技能」は、中学校の部活動や学校行事などについて尋ねたり、答えたりする言い方を知り使用できること、「思考力・判断力、表現力等」は、既習や知っていること、推測することを通して、言語活動を行うこと、そして、「学びに向かう力・人間性等」は、相手に配慮しながら伝え合おうとする姿と位置付け、指導をしていく。

(2) 児童観

今年度より、東京都小学校英語専科教員として、3年から6年までの16クラス、532名の指導を行っている。高学年は年間70時間、中学年は年間22時間の授業を実施する計画である。AETは、年間103日配置されてはいるものの、すべての時間に配置されているわけではない。6年2組は、外国語学習に意欲的に学習する児童が多く、チャレンジを楽しめる学級の雰囲気がある。児童理解を深め、児童の実態に応じた支援を行うことで、英語によるコミュニケーションにチャレンジする勇気を引き出したい。

(3) 教材観

移行期に入り、新教材「We can2」を活用し授業を展開している。デジタル教材を効果的に活用し、学習内容の定着を図っている。デジタル教材の動画や音声を視聴して「聞くこと」を意識した活動や、気持ちや考えを表出する手段として英語を用いた自己表出活動など、学習段階に応じた指導を行っている。

本校では、学年別の指導における一貫性を保つことによる指導の効果を上げるため、第2言語習得理論に基づいて、構成した授業フレームにそって授業を展開している。新教材を活用する移行期の2年間の計画、学年間の指導の一貫性を軸に、児童の学習意欲の維持向上・学習内容の定着を目指している。

6. 指導に当たって

(1) 英語教育の指導に関して

昨年度、私は、小学校における英語教育指導の専門性を高めるため、シドニーのニューサウスウェールズ大学において、児童を対象としたTESOL TEACHER TRAININGの講義を277時間受講した。研修内容は、90時間の英語教授法、31時間の日本の教材研究、29時間の実践的指導、28時間の現地の公立小学校訪問、28時間の児童英語教授法知識、20時間のオーストラリア文化、14時間の野外研修、12時間の言語分析、12時間の重点確認・復習、5時間のオリエンテーション、4時間の修了式及び昼食会、そして、4時間の英語力のテストであった。これらの講義内容には、日本の英語教育にも適用できる最新の情報が多く含まれていた。特に、「なぜ、最高の先生であるために、ネイティブスピーカーである必要はないのか？」でのメッセージが心に残っている。英語を自然に話せるネイティブスピーカーではないからこそ、言語習得のプロセスや方法を知っていると、日本人英語教師の意義を伝えていた。昨年度、学ばせていただいたことを日本の教育現場に還元し、教科としての小学校英語教育を授業において具現化することが使命であると感じている。

(2) プログラミング教育に関して

シーケンス（順序）の考え方を使って、気持ちの良いやり取りについて整理をする。インタビューをするときに、どのような行動が最低限必要であるかについて考え、「より良いコミュニケーション」を行うために、どのような行動を加えたらよいかについて考える。「気持ちの良いインタビューのシーケンス」の考えを用いれば、別の内容のやり取りにおいても、適応することができる。プログラミング的思考を活用することで、「一般化」できることなど、プログラミングの良さについて体験的に学んでいけるよう、意識した指導を行う。

6年－Unit 9 単元名Junior High School Life 中学校生活・部活動

1. 単元目標

- ・中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。（知識及び技能）
- ・中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

2. 言語材料

○ I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].

○ member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale

[既出] 動作, 身の回りの物, スポーツ, 職業, 日課, 曜日, 状態・気持ち, 行事, 教科など

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

6年 U9 Junior High School Life. ④

第6学年 外国語活動 H30 4/8

単元名： U9 Junior High School Life. 中学校生活・部活動

単元目標・中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる（知識及び技能）

- ・中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

表現語彙 ○I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join?I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy?I want to [study hard / read many books / make many friends].○ member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale

	授業の流れ	T1	ALT	Memo
あいさつ Warm Up(5) ALT 主体 英語の雰囲気を作る	Let's start today's English lesson. 曜日・天気・月 Story time	ALT の質問に答えたり、児童のサポートをしたりする。	基本のあいさつと質問をする。	
Today's topic (5) 本時のゴールを共有する HRT 主体 場面設定 (Context Setting)	会話から、本時の課題をつかむ。個人のめあてを考えさせる。 <u>〈入りたい部活や楽しみたい行事について、気持ち良くインタビューをしよう〉</u> What club do you want to join? (Event enjoy/subject study)	聞こえた単語をたずねるなどし、本時の課題を引き出し <u>板書する</u>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 中学校生活のインタビュー Hello! What club do you want to join? I want to join the basketball club. I like basketball. I play basketball. Oh, I see. That's nice. Do you like swimming? Yes I do. I like swimming. I want to join the swimming club. Wow, good luck! Thank you. Bye! </div>	
Activity1(10) ALT 主体 語彙の練習 (Controlled) (Input) Activity2(15) HRT/ALT 自己表現活動	尋ね方と答え方を復習する。 チャッツ ワークシート 自分なりの工夫を書く 中学校生活について、気持ちの良いインタビューをしよう。	児童の様子をみて、定着が浅い場合は、反復するよう ALT に指示を出す。		
R & W	ワークシート9-4			
Summary (5)	本時のめあてを振り返る。 That's all for today's English Lesson.Thank you Teachers	<u>本時のめあてに対する児童の振り返りや感想を聞く。</u>	児童に対する感想を伝える。	教室英語を使用して終わりの挨拶を行う。

Class ____ No. ____ Name _____

〈中学校について、気持ちの良いインタビューをしよう〉

What club do you want to join?

1. 「気持ちの良いインタビュー」にするための自分なりの工夫を考えよう。

2. 部活と楽しみな行事について、気持ちの良いインタビューをしよう。

Name	①club・join/ ②event・enjoy	Reasons
	club	
	event	
	club	
	event	
	club	
	event	

【ふりかえり】

1	中学校生活について伝えられた。	◎ ○ △
2	気持ちの良いインタビューになるよう工夫した。	◎ ○ △
3	感想（楽しかったこと、頑張ったこと、知ったこと、もっと知りたいと思ったことなど）	